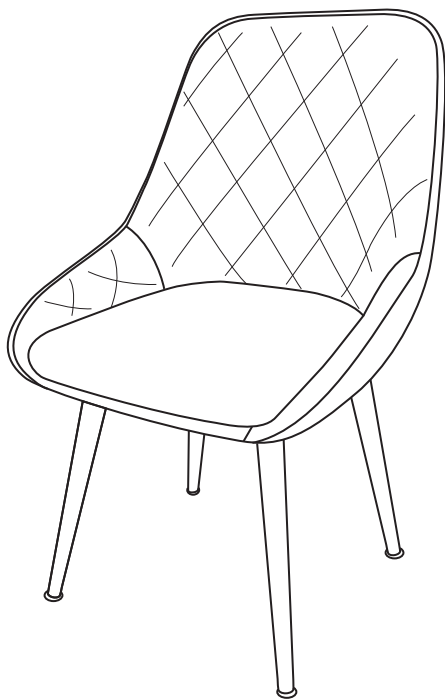


組立説明書

商品サイズ
約 500mm×520mm×810mm
(座面までの高さ 425mm)



構造部材：鉄パイプ、合板
張り材：ポリエステル
塗装：粉体塗装（脚部）
クッション材：ウレタンフォーム、チップウレタン

組み立て前に必ずよくお読みください。

●ご準備いただくもの

- ・はさみ、またはカッターナイフ
- ・少し大きめのダンボール、またはやわらかい布（タオルや布団等）

●組み立て時の注意

- ・必ず **説明書の順番通りに組み立ててください**。順番を変えると、商品が破損したり使用できない場合があります。
- ・安全に組み立てるために **2人以上で作業を行ってください**。
- ・組み立ては平らな場所で、**床などに傷がつかないように、ダンボールや柔らかい布等を敷いて**行ってください。
- ・部品は正確に取り付けてください。



使用上の注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。
熱いままのやかんや鍋、お皿を直接載せると天板にテカリが発生することが御座います。
必ず生地の方厚い布類を下に敷いてから載せて下さい。

用途：室内用家具

用途以外の目的には使用しないでください。

- 熱いものを長時間載せないでください。
- ぬれた場合はすぐ拭き取ってください。
- 火気や暖房器具のそばでは使用しないでください。
火災や、やけど、製品の変形のおそれがあります。
- 必ず水平で安定した場所に設置してください。
- 乗る、ゆするなどの無理な力をかけないでください。
- 移動する際は、載せてあるものをすべて下ろしてください。
- フローリングの床など傷つきやすい床面での使用は、床のキズ、へこみなどの原因となりますので十分ご注意ください。
- 使用しているうちにネジにゆるみが発生し、ぐらつくことがありますので定期的に締め直してください。
- 柔らかい素材のため、硬いものや尖ったものが当たるとキズ・へこみの原因となりますのでご注意ください。
- 腐食やカビ・変形・変色の原因となりますので、以下のことにご注意ください。
 - ・ 直射日光の当たる場所や、高温多湿になる場所に長時間置かないでください。
 - ・ 水分、油、洗剤などが付着した場合は、素早く拭き取ってください。
 - ・ シール、テープなどを貼らないでください。
- 接着剤に含まれる有機溶剤（ホルムアルデヒド）が残っていることがあります。においが気になる時は、換気をよくしてご使用ください。
- 天災などの不可抗力や、不当な修理・改造による事故・破損に対する補償は致しかねます。
- 製品および梱包材を廃棄される際には、お住まいの自治体の取り決めに基づいた処理をお願いします。

点検・お手入れについて

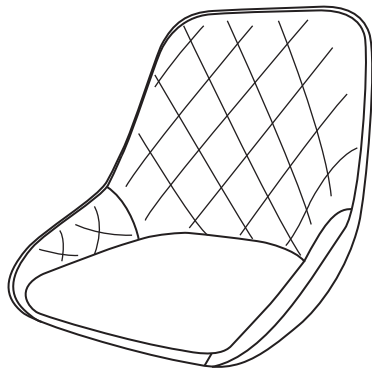
- 汚れをおとす際は、薄めた中性洗剤で拭いた後、固く絞った布等で完全に洗剤分を拭きとってください。
水分等が残りますと跡が残るおそれがあります。
アルコール、ベンジン、漂白剤、みがき粉等は使用しないでください。
- ネジ類は、その取付けが確実かどうか、定期的に点検してください。

この度は当商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に、この取扱・組立説明書を最後までお読みのうえ、正しい使い方で末永くご愛用ください。
なお、この説明書はいつでもご覧いただけるように大切に保管いただきますようお願い申し上げます。

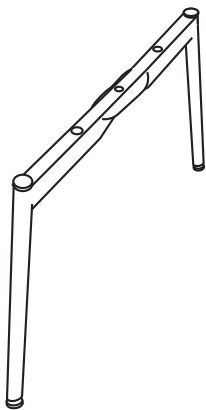
部品一覧

● 数量を確認しましょう。

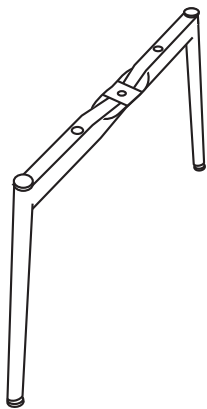
①チェア本体 ×1



②脚部 (上側) ×1



③脚部 (下側) ×1



付属部品一覧

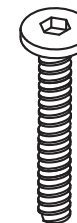
● 数量を確認しましょう。

④中ボルト ×1



M6×35mm

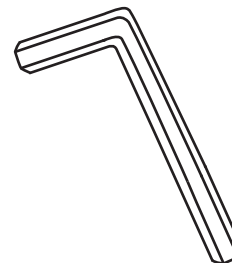
⑤大ボルト ×4



M6×45mm

⑥ワッシャー ×6
(予備×1)⑦スプリングワッシャー ×6
(予備×1)

⑧六角レンチ ×1

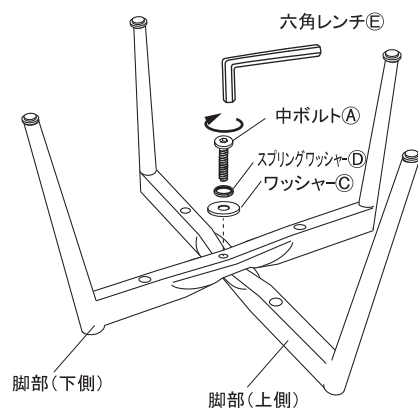


ステップ1

使用金具



脚部(上側)、脚部(下側)の中央凹部を組み合わせ、ワッシャーとスプリングワッシャーにボルトを通し、六角レンチで仮締めします。



ボルトを8割ぐらいに仮締めする

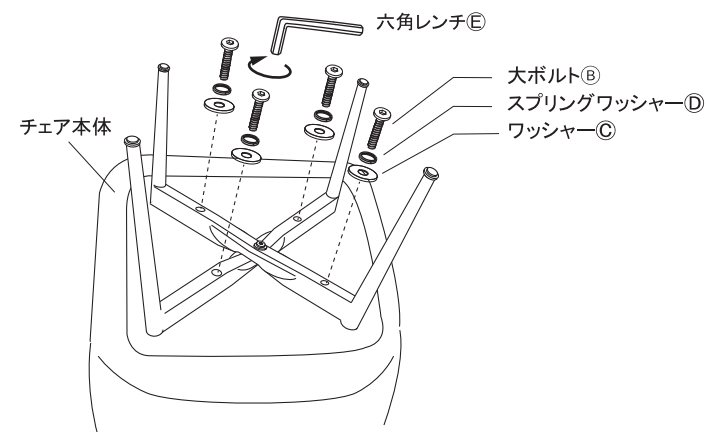


ステップ2

使用金具



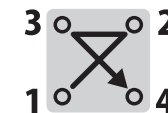
チェア本体を逆さにし、ワッシャーとスプリングワッシャーにボルトを通し、組み合わせた脚部を4ヶ所、六角レンチで取付けます。



全てのボルトを8割ぐらいに仮締めする



対角上にあるボルトは、以下の順番を参考に取付ける

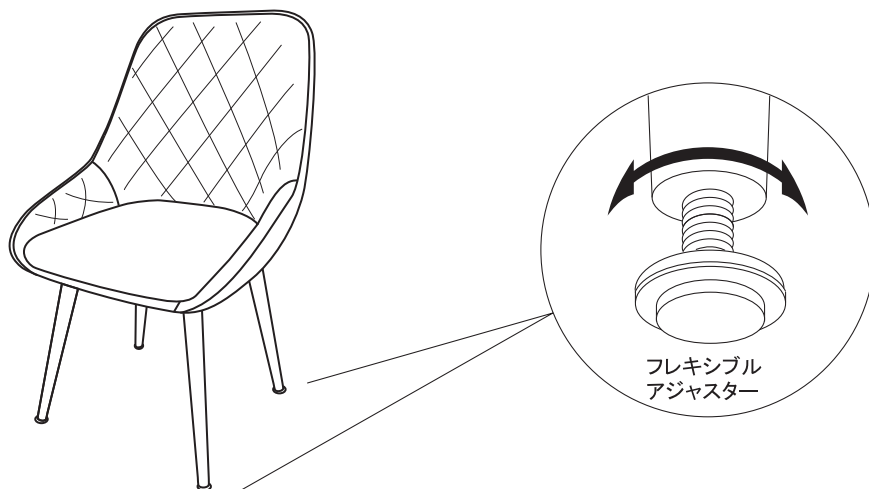


最後に全てのボルトをしっかり締め付ける



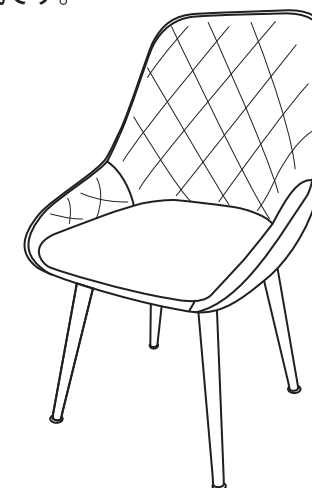
ステップ3

がたつきがある場合は、フレキシブルアジャスターを床に合わせて調整してください。



ステップ4

完成です。



各部のゆるみやガタつきがないか確認してからお使いください。

家具の使用上注意

- 安全にご利用いただくため、この『使用上注意』とその他の説明がある場合は、合わせてよくお読みになり保管してください。
- 組立て及び取り付けは『組立説明書』に従い、確実に行ってください。組立不良・取り付け不良の場合、破損、転落、落下などで怪我の原因となる恐れがあります。

家具の置き方

- 高温・多湿の部屋では、空気が滞留すると、カビやダニが発生しやすくなり健康を害することがあります。空気が流れるよう壁から少し離したり(10cm 位が望ましい)部屋の換気をしてください。
- 直射日光や熱、冷暖房器の風などが直接当たらないようにしてください。変形・変色や加熱による火災の原因になります。
- 家具は水平を保つように置いてください。不安定なまま使用しますと、強度が低下し破損したり転倒したりして怪我の原因になります。

ご使用にあたって

- 家具の上に立ったり、飛んだり、踏み台代わりに使用したり、不安定な姿勢で腰掛けたりしないでください。安定をくずし倒れたり、壊れたりして怪我をする事があります。
- 上に乗ったり、無理な力で引っ張ったりしないでください。家具が壊れて怪我をすることがあります。
- キャスター(移動用小車)付きの場合は、その上に立ったり、座ったまま激しく動かしたり、押して遊んだりしないでください。倒れて怪我をしたり、ほかの物をこわしたりする事があります。
- 乳幼児だけの取り扱いはやめさせてください。
- 家具を移動するときは、落ちたり倒したりして物を壊したり、怪我をすることがないように手でしっかりと持って、水平を保って運んでください。
家具をさかさまにしたり横にして運ぶと部品や部材がはずれ、落下して破損や怪我の原因になります。
家具を移動するときは、家具の本体を持ち、(引き出し等を持つと破損の原因にもなります)収納物や外れる部品、部材は全て外して運んでください。
又、完全に持上げて移動してください。床等を破損したりする恐れがあります。
- ガラス製品の近くで物を投げたり、はねたりして遊ばないでください。ガラスが割れて怪我の原因になります。

保守・点検

- ネジ類がゆるんでいないか定期的に点検し、ゆるみはじめてらしっかりしめ直してください。ゆるんだまま使用していると、家具が破損して怪我をする事があります。
- 虫害を発見した場合は、直ちに殺虫や防虫処理をしてください。他から虫が入ったことも考えられますので、放置すると拡大する恐れがあります。